

器 2 8 医療用定温器
管理医療機器 血液用冷蔵庫 3 5 4 8 6 0 0 0
特定保守管理医療機器 ホリシエ

【警告】

- ・振とうスピードを血液に適正な振とう範囲外に変更しないで下さい。（血液保存に適正な振とうが維持できず患者の健康被害に繋がるおそれがあります）
- ・本機器に温度制御機能はありませんので、 $+20^{\circ}\text{C}\sim+24^{\circ}\text{C}$ の環境に設置して下さい。（血液保存に適切な温度が維持できず患者の健康被害に繋がるおそれがあります）

【禁忌・禁止】

- ・屋外や雨水のかかる場所で使用しないで下さい。（漏電・感電の原因になります。）
- ・電源は、電気容量が十分で、かつ、電圧変動のない単独配線の電源を必ず使用して下さい。（感電や発熱、火災の原因になります。）
- ・湿気の多いところや、水のかかりやすい場所に据え付けしないで下さい。（絶縁低下や漏電・感電の原因になります。）
- ・床面が平らで重量に十分耐えるところにアジャスターを調整し、水平になるように据付けてください。（強度不足や据付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガの原因になることがあります。）
- ・製造元または専門業者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造したりしないで下さい。（異常動作をしてケガや感電・火災などの原因になります。）

【形状、構造及び原理等】

血液を振とう保存するための振とうラックを有する

【使用目的又は効果】

血液の保存

【使用方法等】

1. 運転準備
 - 1) 電源を接続して下さい。
 - 2) 外部警報を接続して下さい。
2. 運転
 - 1) スタート
 - ①電源を ON にして下さい。
 - ②運転スイッチを ON にして下さい。
 - ③電源表示灯が点灯していることを確認して下さい。
 - ④警報スイッチを ON にして下さい。
 - ⑤スピードコントローラーで保存のための振とうに必要なスピードを設定して下さい。
 - ⑥振とうスピードが安定した後、使用可能です。
 - 2) 停止
 - ①電源を OFF にして下さい。
 - ②外部警報の接続を外して下さい。
3. 警報
ラックが約 10 秒間停止した場合、警報ブザーが鳴ります。ラックが往復することによってセンサーが ON、OFF し、この繰り返しがなければ、回路内のアンプが往復運動を検知しないため警報を発します。警報スイッチを OFF にしても警報ランプは正常な往復運動を繰り返す迄点灯のままです。

【使用上の注意】

ラックを停止させてから、柵の出し入れをして下さい。

【保管方法及び有効期間等】

直射日光および 高温多湿をさけて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

定期的に製造元または専門業者による保守点検を行って下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社大同工業所
電話 06-6746-7141